

2022年度 通期決算

2023年4月27日

富士電機株式会社

1.	2022年度 実績(対前年)	P.	3
2.	2022年度 実績(対1/26予想)	P.	12
3.	貸借対照表・キャッシュフロー計算書	P.	14
4.	剰余金の配当	P.	17
5.	補足資料	P.	19

1. 2022年度 実績 (対前年)

通期 連結業績概要 (対前年)

売上高、営業損益、経常損益、純損益は過去最高を更新

(単位:億円)

	2021年度	2022年度	増減
売上高	9,102	10,094	992
営業損益 (営業利益率)	748 (8.2%)	889 (8.8%)	140 (0.6%)
経常損益	793	878	85
特別損益	92	79	-13
税金等調整前 当期純損益	885	957	73
法人税等	239	271	32
非支配株主に帰属する 当期純損益	59	73	14
親会社株主に帰属する 当期純損益	587	613	27

(期末レート;3月末)

(単位:円)

US\$	122.39	133.53	11.14
EURO	136.70	145.72	9.02
RMB	19.26	19.42	0.16

(平均為替レート)

(単位:円)

US\$	112.38	135.47	23.09
EURO	130.56	140.97	10.41
RMB	17.51	19.75	2.24

売上高増減

海外子会社の為替換算差による増収	+118
需要増	+874

営業損益増減

物量・生産増	+355
固定費増	-220
為替影響	+56
その他*	-51
	+140

*コストダウン、価格変動、機種構成差等

営業外損益増減

金融収支	+6	(11 → 17)
為替差損益	-24	(13 → -11)
その他	-37	(20 → -17)
	-55	(45 → -11)

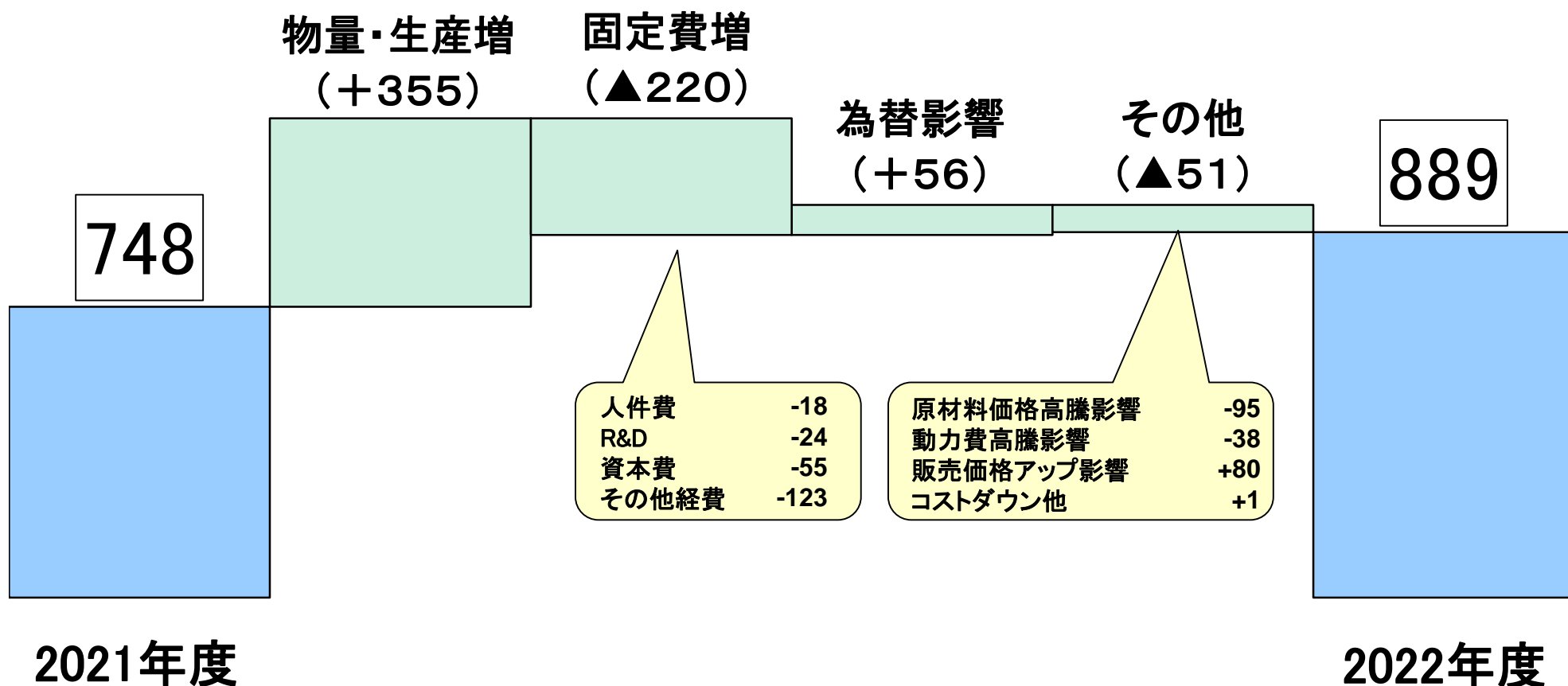
特別損益増減

投資有価証券売却損益	-4	(104 → 99)
その他	-8	(-12 → -20)
	-13	(92 → 79)

通期 営業損益増減分析 (対前年)

原材料価格や動力費の高騰、固定費増があるものの
物量・生産増および為替影響等により増益

(単位: 億円)



通期 セグメント別売上高・営業損益 (対前年)

全セグメントで増収増益

(単位: 億円)

	2021年度			2022年度			増減		
	売上高	営業損益	営業利益率	売上高	営業損益	営業利益率	売上高	営業損益	営業利益率
パワエレ エネルギー	2,310	212	9.2%	2,641	269	10.2%	331	57	1.0%
パワエレ インダストリー	3,241	238	7.3%	3,534	249	7.0%	293	11	-0.3%
半導体	1,788	271	15.2%	2,062	322	15.6%	274	51	0.4%
発電プラント	786	31	4.0%	873	36	4.1%	88	4	0.1%
食品流通	908	30	3.3%	953	44	4.6%	45	13	1.3%
その他	547	28	5.2%	598	37	6.3%	51	9	1.1%
消去または全社	-478	-63	-	-567	-67	-	-89	-4	-
合計	9,102	748	8.2%	10,094	889	8.8%	992	140	0.6%

※ 2021年度実績は、2022年度の事業組替の数値を反映しています。

通期 セグメント別概況①(対前年)

(単位:億円)

			2021年度	2022年度	増減	概況
パワエレ	エネルギー	売上高	2,310	2,641	331 +49*	エネルギーマネジメント 3%減収 前期の産業向け変電機器の大口案件影響等により、売上高、営業損益ともに前期を下回りました。 施設・電源システム 31%増収 国内外のデータセンター及び半導体メーカー向け案件の需要が大幅に拡大し、売上高、営業損益ともに前期を上回りました。 器具 11%増収 工作機械及び半導体製造装置等の国内を中心としたセットメーカーの需要が拡大し、売上高、営業損益ともに前期を上回りました。
		営業損益	212	269	57 +17*	
	インダストリー	売上高	3,241	3,534	293 +24*	オートメーション 7%増収 中国において新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたものの、その他の地域における需要増加及び為替影響等により、売上高、営業損益ともに前期を上回りました。 社会ソリューション 8%減収 船舶向け及び鉄道車両向けの案件が減少し、売上高、営業損益ともに前期を下回りました。 設備工事 4%増収 電気設備工事の需要が増加し、売上高、営業損益ともに前期を上回りました。 ITソリューション 17%増収 文教及び民需分野の大口案件等の需要増により、売上高、営業損益ともに前期を上回りました。
		営業損益	238	249	11 +7*	

※2021年度実績は、2022年度の事業組替の数値を反映しています。

*為替影響

通期 セグメント別概況②(対前年)

(単位:億円)

		2021年度	2022年度	増減	概況																
半導体	売上高	1,788	2,062	274 +39*	ディスク媒体事業からの撤退影響があったものの、電動車(xEV)向け及び産業分野向けのパワー半導体の需要拡大及び為替影響により、売上高は前期を上回りました。 また、営業損益も、パワー半導体の生産能力増強に係る費用の増加や素材価格及び動力費の高騰影響があったものの、高操業の維持による生産及び売上の増加により、前期を上回りました。 売上高内訳 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業</td> <td>1,057</td> <td>1,060</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ディスク媒体</td> <td>64</td> <td>0</td> <td>-64</td> </tr> <tr> <td>電装</td> <td>731</td> <td>1,002</td> <td>271</td> </tr> </tbody> </table>		2021年度	2022年度	増減	産業	1,057	1,060	3	ディスク媒体	64	0	-64	電装	731	1,002	271
		2021年度	2022年度	増減																	
産業	1,057	1,060	3																		
ディスク媒体	64	0	-64																		
電装	731	1,002	271																		
	営業損益	271	322	51 +32*																	
発電プラント	売上高	786	873	88	再生可能エネルギーの大口案件及び案件差等により、売上高、営業損益ともに前期を上回りました。																
	営業損益	31	36	4																	
食品流通	売上高	908	953	45	自販機 13%増収 中国の子会社における貸倒引当金計上等による損益悪化影響があったものの、国内の需要拡大に加え、原価低減の推進等により、売上高、営業損益ともに前期を上回りました。 店舗流通 2%減収 前期の金銭機器の大口案件影響により、売上高は前期を下回りましたが、営業損益は原価低減の推進等により、前期を上回りました。																
	営業損益	30	44	13																	

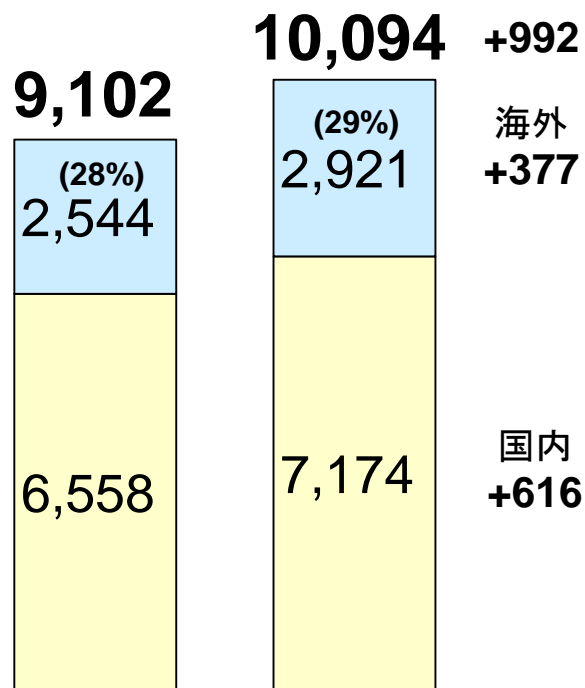
※2021年度実績は、2022年度の事業組替の数値を反映しています。

*為替影響

通期 国内/海外・地域別売上高 (対前年)

中国の減収をその他地域でカバーし増収

(単位:億円)
()内は海外売上高比率



2021年度 2022年度

(単位:億円)

対前年	2021年度	2022年度	増減
海外	2,544	2,921	+118* 377
アジア他	1,168	1,452	+63* 284
中国	1,005	894	+17* -112
欧州	200	331	+20* 131
米州	170	243	+18* 73

*為替影響

エネルギーマネジメント +17
施設・電源システム +141
器具 +11
オートメーション +70
半導体 -1
(内、ディスク媒体 -64)
発電プラント +69

器具 -21
オートメーション -49
半導体 -27
食品流通 -15

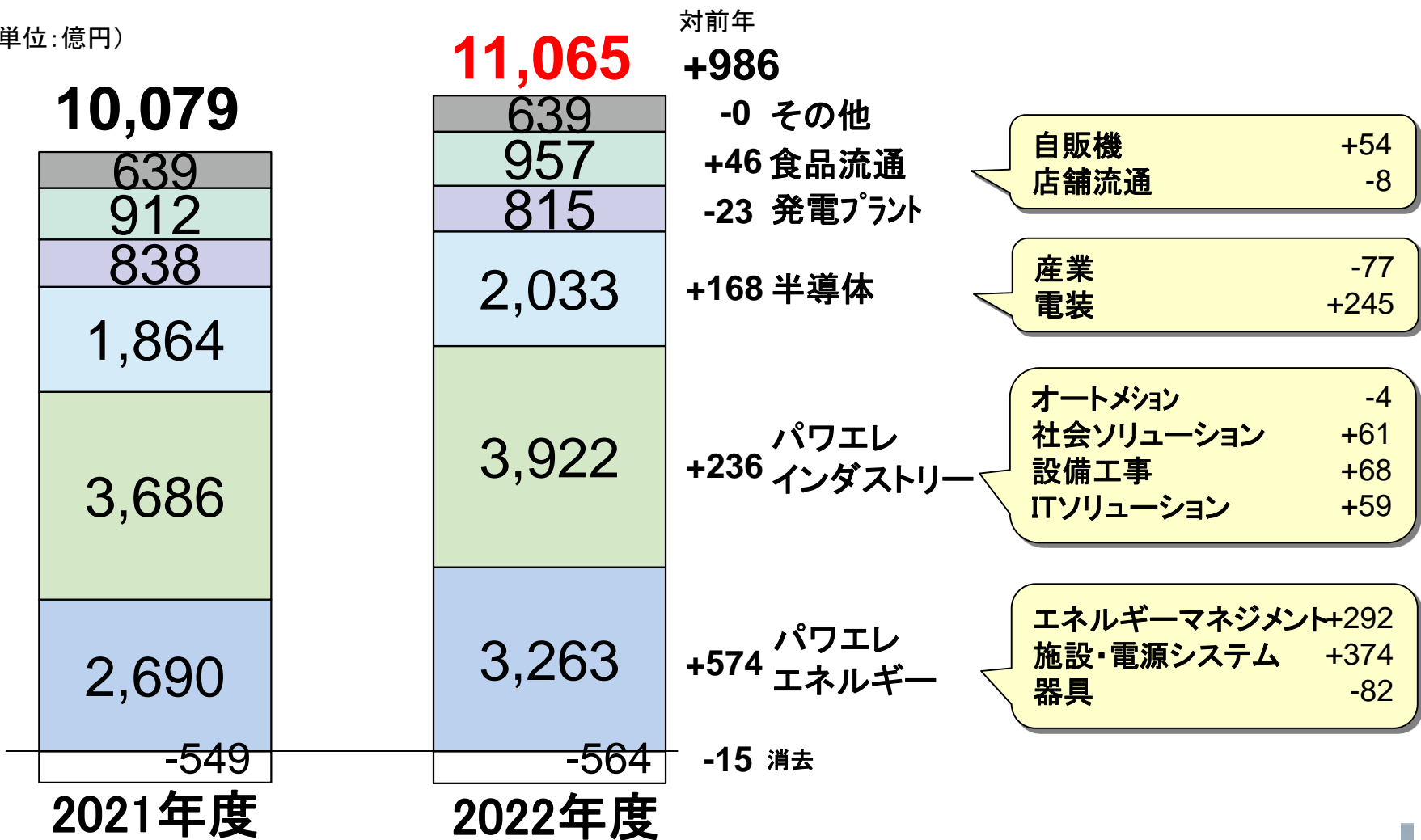
オートメーション +20
半導体 +99

エネルギーマネジメント +11
オートメーション +19
社会ソリューション +12
発電プラント +13

通期 セグメント別受注高 (対前年)

パワエレのプラント・システム、電装向け半導体の受注が大幅に増加

(単位:億円)



四半期別主要コンポーネント受注高・売上高

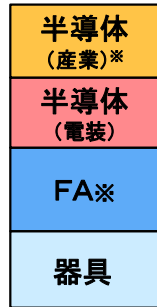
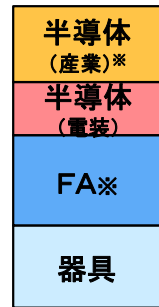
受注は、器具、FA等の減少を電装向け半導体でカバー
売上は、受注残の消化および電装向け半導体により増加

(単位: 億円)

受注高

4,284

4,307



対前年

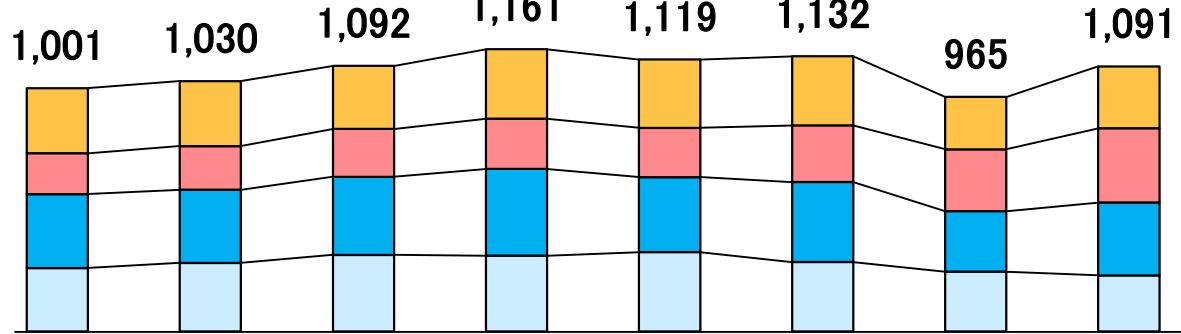
+23

-4%

+33%

-8%

-7%



4Q対3Q

+126

+19%

+20%

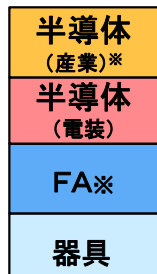
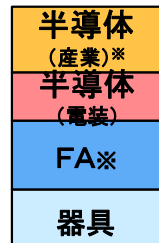
+20%

-6%

売上高

3,739

4,198



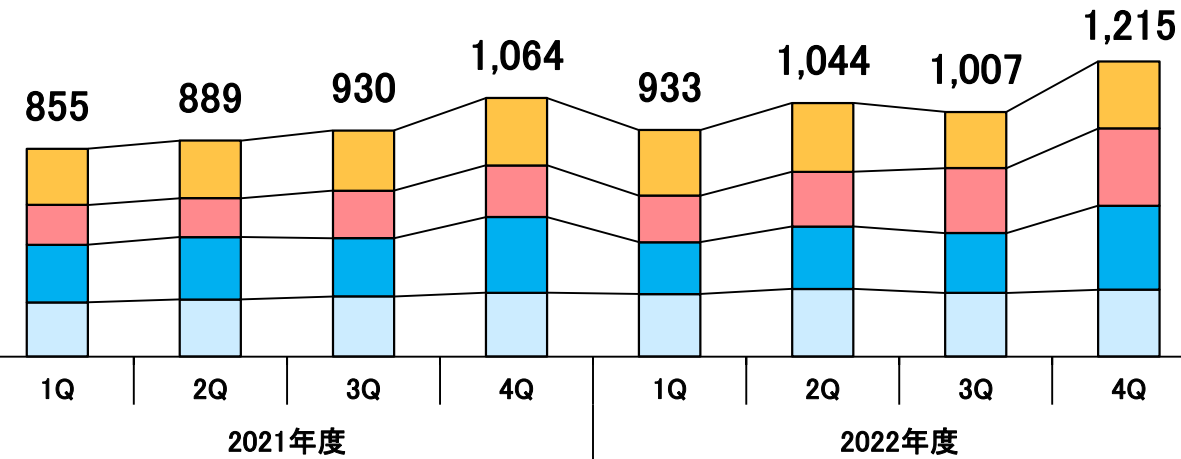
+459

+7%

+37%

+2%

+11%



+208

+19%

+19%

+41%

+5%

受注高-売上高

146

141

162

96

186

88

-42

-124

※半導体(産業)は、ディスク媒体除く

※FA: 低圧インバータ、回転機、FAコンポーネント、計測機器

※2021年度実績は、2022年度の事業組替を反映しています。

2. 2022年度 実績 (対1/26予想)

通期 連結業績概要 (対1/26予想)

対1/26予想は増収増益

(単位: 億円)

	2022年度 1/26予想	2022年度 実績	増減
売上高	9,850	10,094	244
営業損益 (営業利益率)	870 (8.8%)	889 (8.8%)	19 (0.0%)
経常損益	880	878	-2
親会社株主に帰属する 当期純損益	595	613	18

(単位: 億円)

	2022年度 1/26予想		2022年度 実績		増減	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
パワエレ エネルギー	2,520	266	2,641	269	121	3
パワエレ インダストリー	3,550	256	3,534	249	-16	-7
半導体	2,040	313	2,062	322	22	9
発電プラント	820	41	873	36	53	-5
食品流通	930	42	953	44	23	2
その他	550	33	598	37	48	4
消去または全社	-560	-81	-567	-67	-7	14
合計	9,850	870	10,094	889	244	19

3. 貸借対照表

キャッシュ・フロー計算書

年度末 連結貸借対照表 (対前年)

財務の健全性を維持し、成長投資を実行

(単位:億円)

資産の部	22/3/31	23/3/31	増減
現金及び預金	930	847	-83
売上債権	3,573	3,885	312
棚卸資産	1,703	1,987	284
その他	614	417	-197
流動資産 計	6,820	7,136	316
有形固定資産	2,337	2,839	502
無形固定資産	225	240	15
投資その他の資産	1,789	1,600	-189
固定資産 計	4,351	4,679	329
繰延資産	1	1	-0
資産 合計	11,171	11,816	644
ROA	5%	5%	0%
ROE	13%	12%	-1%
ネット有利子負債※1	1,170	991	-179
ネットD/Eレシオ※2	0.2倍	0.2倍	-0.1倍
自己資本比率	42.3%	43.8%	1.4%

負債、純資産の部	22/3/31	23/3/31	増減
買入債務	1,717	2,016	298
有利子負債	2,084	1,833	-251
その他負債	2,132	2,246	114
負債 合計	5,934	6,095	161
資本金	476	476	-
資本剰余金	460	460	-0
利益剰余金	3,193	3,649	456
自己株式	-74	-74	-0
株主資本	4,055	4,511	456
その他の包括利益累計額	674	660	-14
非支配株主持分	508	550	41
純資産 合計	5,237	5,721	483
負債・純資産 合計	11,171	11,816	644

※1 ネット有利子負債：有利子負債-現金及び現金同等物

※2 ネットD/Eレシオ：ネット有利子負債 ÷ 自己資本

通期 キャッシュ・フロー計算書 (対前年)

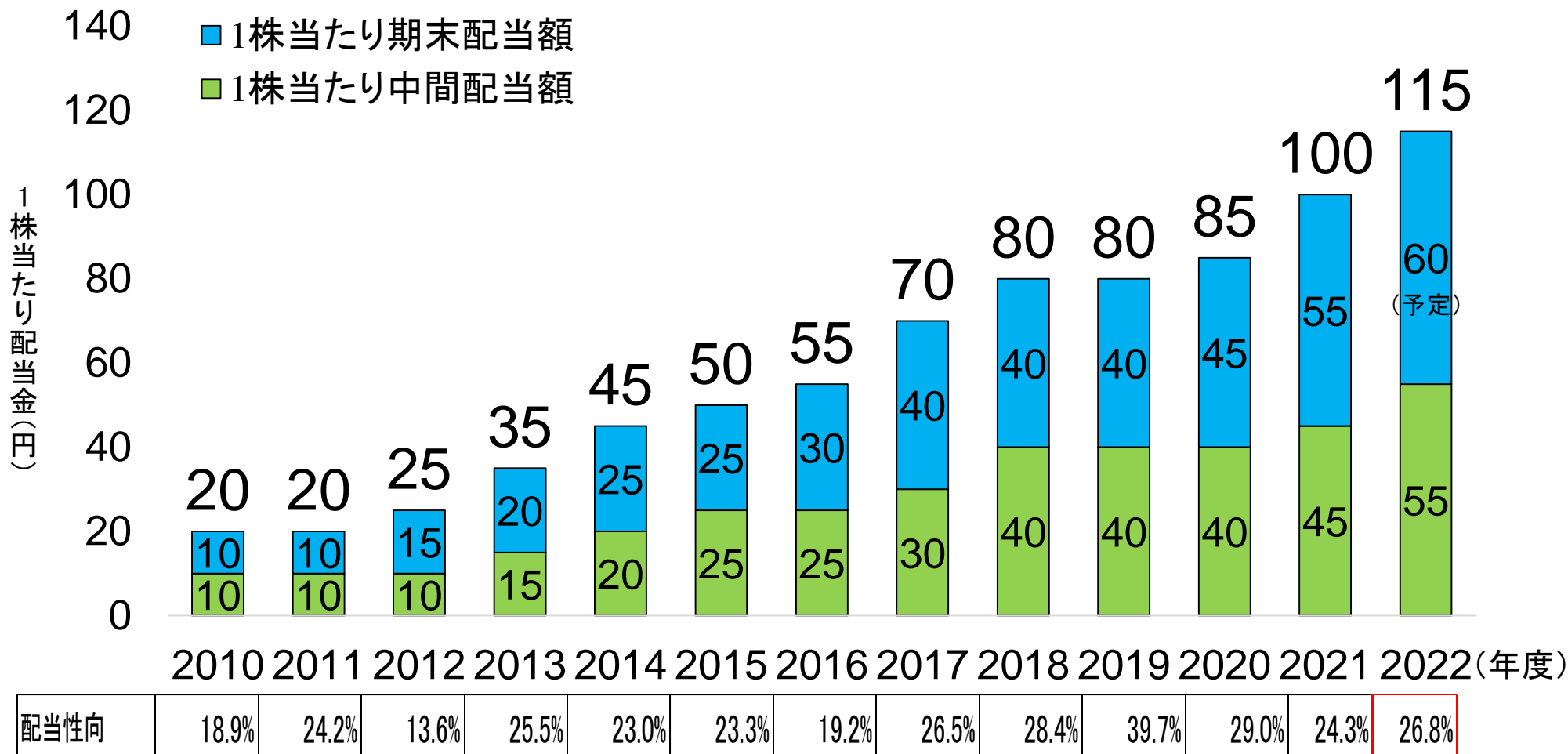
(単位: 億円)

	2021年度	2022年度
I 営業活動によるキャッシュフロー	768	1,162
II 投資活動によるキャッシュフロー	-224	-495
I + II フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	545	667
III 財務活動によるキャッシュフロー	-429	-772
IV 現金及び現金同等物の期末残高	914	842

4. 剰余金の配当

剰余金の配当

期末配当額は1株当たり60円(予定)



※2010年度から2018年度上期まで(株式併合前)は5株当たり配当額

5. 補足資料

■器具受注高

	4Q(対3Q)	4Q(対前年)
全体	-6%	-26%
国内	-16%	-23%
海外	+43%	-33%

年間(対前年)
-7%
-3%
-18%

■低圧インバータ受注高

	4Q(対3Q)	4Q(対前年)
全体	+31%	-27%
国内	-2%	-33%
海外	+54%	-24%

年間(対前年)
-7%
-17%
-1%

■半導体受注高

	4Q(対3Q)	4Q(対前年)
全体(ディスク媒体除く)	+19%	+14%
産業(ディスク媒体除く)	+19%	-10%
電装	+20%	+48%

年間(対前年)
+11%
-4%
+33%

■自販機受注高

	4Q(対3Q)	4Q(対前年)
全体	+8%	+10%

年間(対前年)
+13%

1. 本資料は法律に基づく監査手続の対象外であり、本説明会の時点において、法律に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。
2. 本資料及び本説明会に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
3. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
4. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。